



# 城西国際大学の6年制薬学教育



## 「遠くの大病院より、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

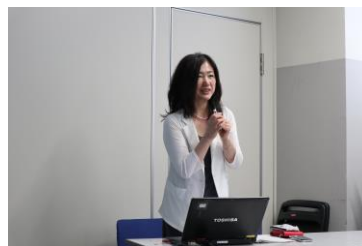
携帯サイトへ！



## 九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2017 『こどもを育てるまちづくり』

●主催：九十九里コミュニティヘルスケア協議会 ●共催：地方独立行政法人さんむ医療センター・城西国際大学 ●後援：千葉県看護協会・山武市・東金市

九十九里地域におけるヘルスケアに携わる人材育成とヒューマンネットワークの構築を目的として、九十九里コミュニティヘルスケア協議会が発足しました。今年の夏期セミナーは、8月25日、26日の両日で開催されました。基調講演として、東邦大学看護学部 福島 富士子氏に、ソーシャルキャピタルという概念を中心とした「子育てから始まる健康なまちづくり」についてご講演いただきました。



このセミナーの特徴でもあるフィールドワークでは、「医療・保健フィールド」、「子育て支援・行政フィールド」、「地域福祉フィールド」、「教育支援フィールド」にわかれ、この地域で行われている子育て支援に関連する活動について学びました。それぞれの施設で従事している方々のお話を伺い、それらの一部を体験することは、受講生たちにとって忘れがたい経験となりました。



セミナーのまとめとして、この地域が抱える問題を抽出し、それらの課題を解決する方法と共に自ら考える「こどもを育てるまちづくり」を提案しました。



これからの社会を担う若者たちが、それぞれの地域で今回の学びの成果を発揮してくれることを期待しています。

2018年度生 募集

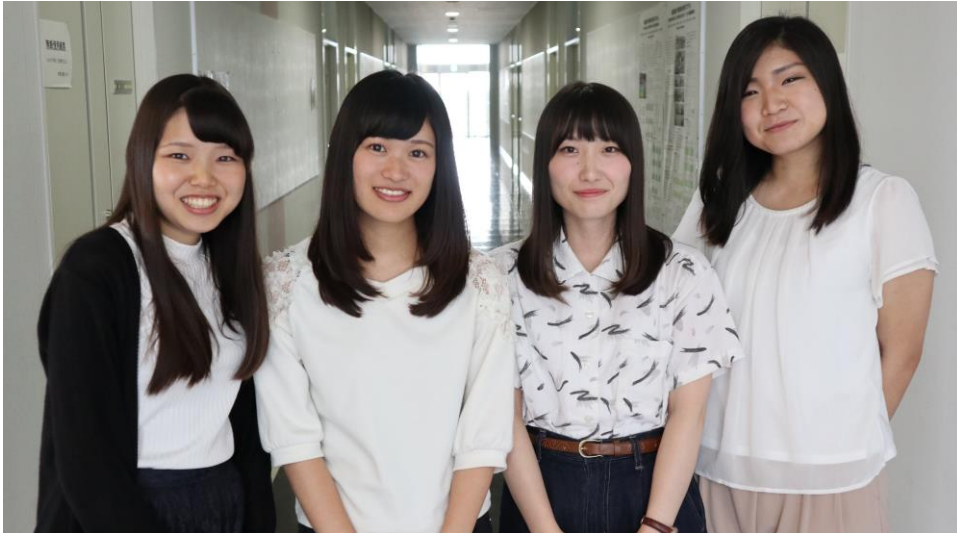
大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

城西国際大学 入試・広報センター

TEL: 0475-55-8855 E-mail: [admis@jiu.ac.jp](mailto:admis@jiu.ac.jp) <http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>

# 九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2017

## 「こどもを育てるまちづくり」～私たちが考え、行動すべきこと～



本日は、8月最後の週末に開催された九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2017に参加した薬学生4名にお話を伺いました。

### どうしてこのセミナーに参加しようと思いましたか？

(山本) 私は今まで、授業以外の活動にはほとんど参加せず消極的だったんですけど…、でも、何もしない大学生活はもったいないな～って思っていました。そんな時、このセミナーのことを知って…。地域のことや、子育て支援について知らないことが多かったの、興味があり参加しました。

(石川) 私も知らないことが多くて…。大学の授業などで、高齢化については色々習うけど、少子化対策や子育て支援については意外と情報が少ない気がする…。だから、もやっとしたイメージしかないんだよね…。大学がある「この地域」と今回のセミナーのテーマである「子育て支援」に興味があり参加しました！

(小林) もやっとしたイメージ…、確かにセミナーへ参加する前は、TVなどからの断片的な情報のみで系統立った内容は思い浮かばなかったな～。私は、昨年、UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2017に参加してアメリカの医療制度について学んだんですが、逆に海外に行くことで日本について知らないことがたくさんあることに気付かされて…。今回、日本、そしてこの地域の取り組みについて学んでみたいと思いました。

(麻生) 他を知ることは重要だね！私は、千葉大学、千葉科学大学、城西国際大学による3大学薬学部共同プロジェクトに参加しているんですけど、その中で他大学の学生とディスカッションを行うだけで、「こんな考え方があるんだ～」って驚くことがたくさんありました。このセミナーも様々な学部の学生が参加すると聞いていたので、自分の考えや視野を広げられると考え申し込みました。

### セミナーに参加されていかがでしたか？

(麻生) 学生以外の参加者もいるって聞いていたので、もっと堅苦しいセミナーかと思っていたのですが、皆さん気さくで話し合いやすい雰囲気でした。

(石川) 私も、同じグループに他大学の学生や知らない人たちがいたので、はじめは戸惑ったけど…、アイスブレイクですぐに打ち解けました。でも、セミナー全体として、スケジュールがぎっしりだったから結構大変でしたね。

(山本) たしかに…、忙しいスケジュールだったね。でも、その分退屈しないし、色んなことを順番に考えることができて…、振り返ってみるとあっという間だったよね。

(小林) それだけ充実していたってことじゃないか

な。そういえば、セミナーの中で地域の活動を見学・体験できるフィールドワークがあったけど、皆どうだった？

(山本) 私は、「医療・保健フィールド」に参加したよ！ここでは、山武市が小中学校で行っている思春期保健教育について学びました。妊婦体験ジャケットを着用させてもらったんですけど、これは男性が妊婦さんの日常生活の大変さや苦労を体験して理解するものだと思っていたけど…、女性の私も「妊娠すると日常がこんなに大変なんだ」って感じました！疑似体験は、妊婦さんの気持ちを理解する上ですごく重要だと感じました。

(石川) たしかに…、男性に限らず女性でも妊婦の経験がないと日常生活の大変さを実感できないよね。体験することで、実際にどんな動作が大変なのか理解することができるから、普段の生活で妊婦さんに出会っても適切な配慮をすることができるようになるね！

(麻生) 私も山本さんと同じ、思春期保健教育に参加しました。子育て支援の話を行う中で、虐待や不登校の話も出てきて…、それらはすごく意外でした。私が想像していた子育て支援は、お母さんに対する赤ちゃん教育や医療制度のイメージが強かったの…。色々お話を伺う中で、本当に悩んでいる人は自分から相談するのがすごく難しい場合が多いってことを知りました。

(石川) 必要な教育をきちんと受けたり、悩みを相談できる環境をつくるのが重要だね！私は、さんむ医療センターで、妊娠前後の継続的サポートに参加してきました。病院で行うフィールドワークなので医療中心だと思っていたけど、妊娠前後では、身体の変化以外にも精神的、経済的、社会的に環境が大きく変化してくことを学びました。妊娠によって起こる人生の変化…、本当に色々考えさせられました。行政も含めて、私が知らなかった多くの支援制度があるけど…、望まない妊娠や虐待、不登校など様々な問題が起こる前の予防が重要だと思いました。

(小林) 現在、問題に直面して困っている方々への対応とともに、それらが起きないようにする努力…。とても大切なことだけど、予防ってすごく難しいよね。

(石川) たしかに難しいことだね…。私は今回のフィールドワークを通じて、交流する機会の重要性を

学んだんだ。お母さん同士が交流する機会をつくるのが、子育てに関する正しい知識を学ぶ機会を増やしたり、虐待などの問題に対する予防に繋がるんだと思うよ。

(小林) たしかに…、私が参加したフィールドワークでも、同じことを感じたよ。私は、「教育支援フィールド」として学童保育に参加しました。見学させていただいた「ぬく森くらぶ」では、保護者が日中不在で、授業が終わった後に居場所のない子供たちの遊びや生活の場として利用されていました。最小限のルールの中で、時間を決めて宿題をしたり、おやつを食べたり…、年齢の違う子供同士でコミュニティを形成している姿がとても新鮮でした。また、この施設では、ボランティア活動としてゴミ拾いなどを行い、地域との繋がりも大切にしていました。交流する機会をつくり、お互いが見える関係を築くことが、不登校などの問題に対する予防に繋がるんじゃないのかな。このフィールドを通じて、子供も含めて年齢や背景の違う人たちが繋がってまちをつくっていることがわかりました。

(麻生) なるほど！基調講演で福島先生が言われていた、ソーシャル・キャピタルの醸成…、重要なのは、そこに住む人々同士、そして地域や社会が繋がることなんだね！

### この地域が取り入れるべきことって何だと思えますか？

(小林) 今回、グループ同士で情報共有した際に、自分たちが体験していないフィールドについて学びました。妊婦さんの身近な相談相手として出産や子育てを応援している母子保健推進員、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行政の視点から行う子育て世代包括支援センター、子育てや家庭の問題などの相談窓口として活動している「こころん」、障害児理解、支援を行う東金特別支援学校…、今まで自分が知らない子育て支援がたくさんあるなって感じました。妊娠前後など必要なタイミングで、必要な情報を知っていくことになるんだと思うけど…、自分たちが将来受けることができる様々な子育て支援を妊娠前後以外の人達が知ること、より子育てに対しての安心感が生まれるんじゃないかなって思いました。この地域に限らないことですが、良い取り組みや正しい情報をもっとうまく届けることが大切だと思います。

(石川) そうだね。でも、与えられるだけじゃなくて、自分から必要な情報を収集したり、活用したりすることも重要だと思うよ。今回のセミナーでも、色々な意見や情報があったと思う。年齢や立場の違いでも様々な考えがある。だから、もっと多世代交流できるような機会があると、意見や価値観が異なっても互いの理解や尊重に繋がり、良いコミュニティになると思います。

(麻生) 地域の人たちと話す機会は重要だね！隣に誰が住んでいるのかわからないなんて不安だし…。フライバシーに配慮する必要はあるけど、挨拶をしたり、雑談をしたり…、そういう些細なことが安心や信頼に繋がり、「こどもを育てるまちづくり」を育んでいくんだと思うな。

(山本) 些細なことからはじまる安心…、実現していくには、私たち一人一人ができること考え、行動することが大事だね！



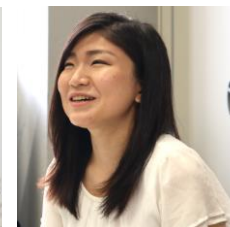
小林 風貴(4年)  
若松高校出身(千葉)



山本 恵梨香(4年)  
横浜南陵高校出身(神奈川)



麻生 莉捺(4年)  
船橋東高校出身(千葉)



石川 実菜子(4年)  
上尾高校出身(埼玉)